

★人工知能と知識処理研究会 (AI)

専門委員長 峯 恒憲 副委員長 片上大輔・福田直樹
幹事 服部宏充・清 雄一 幹事補佐 櫻井祐子

◎本研究会は参加費が必要になります。

ISS の技報完全電子化研究会に関する御案内ページ

https://www.ieice.org/iss/jpn/notice/e_gihou.html

日時 8月27日(月) 10:00~16:40

会場 大阪大学吹田キャンパス

議題 「地球環境観測と人工知能」及び一般

1. Climate Forecasting by ConvLSTM on Segmented Region ○Ekasit Phermphoonphiphat (Osaka Univ.)・Tomohiko Tomita (Kumamoto Univ.)・Masayuki Numao・Ken-ichi Fukui (Osaka Univ.)
2. 物理過程に基づくニューラルネットワーク構築の検討
○田中潤也(阪大)・富田智彦(熊本大)・沼尾正行・福井健一(阪大)
3. 機械学習を用いた台風検出器の開発 ○金崎拓郎・筆保弘徳・加瀬紘熙(横浜国大)・松岡大祐(海洋研究開発機構)・吉田龍二(理研)・加瀬紘熙(横浜国大)
4. ディープラーニングを用いた雲解像大気シミュレーションデータからの熱帯低気圧の予兆検出
○松岡大祐・中野満寿男・杉山大祐(海洋研究開発機構)・内田誠一(九大)

午後

5. 海洋観測データと機械学習の活用 細田滋毅(海洋研究開発機構)
6. シグネチャ法による ARGO プロファイルの学習 ○杉浦望実・細田滋毅(海洋研究開発機構)
7. 気象観測データの品質管理手法 ○北村智文・小林健二・木川誠一郎(気象庁)
8. 福岡・熊本・鹿児島における降水イベントの時間変化特性 ○松本直樹・荻野健太・富田智彦(熊本大)
9. 再帰型ニューラルネットワークを用いた気象時系列データにおける変化点検知手法の提案
○前原宗太郎(鹿児島大)・福井健一(阪大)・富田智彦(熊本大)・小野智司(鹿児島大)
10. 機械学習を用いた海岸漂着ごみの定量化 ○加古真一郎・有働冬采(鹿児島大)
11. 少数地点における観測データからの不連続性を考慮した物理量場のベイズ推定
○太田真人・岡留 剛(関西学院大)
12. 衛星データと機械学習を用いた耕作放棄地分布推定と圃場・地理的要因による耕作放棄確率モデル
○山口陽平・町村 尚・松井孝典(阪大)

◎情報交換会(18:00~20:00)

【問合先】 AI研究会幹事

E-mail: ai-staff@mail.ieice.org